

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調査

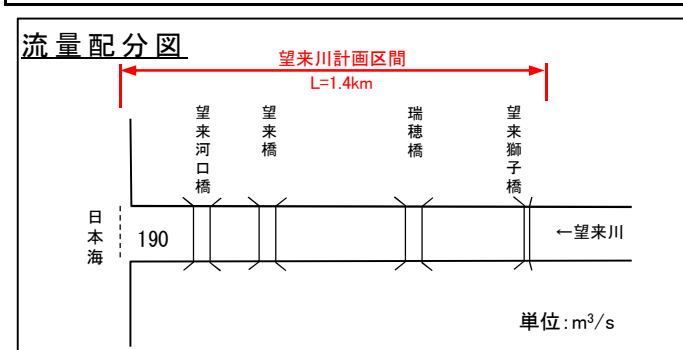
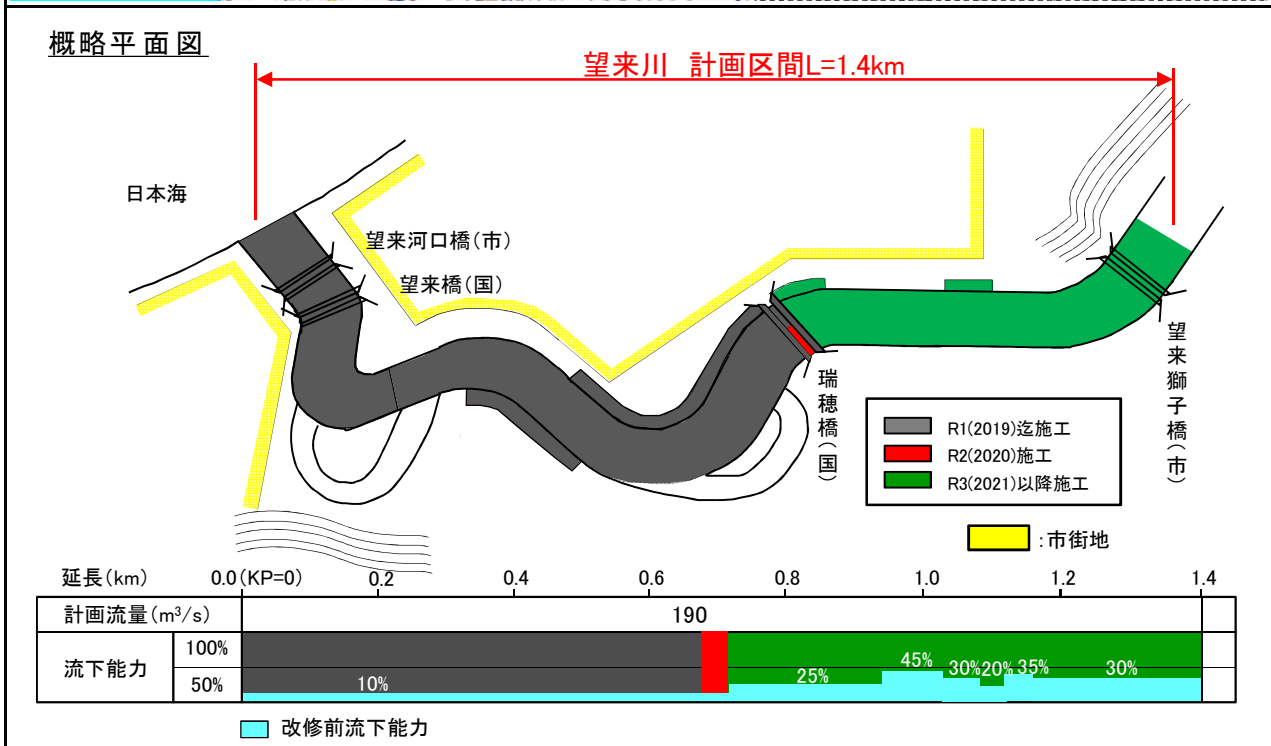
調査番号		08-09		所管部		建設部		作成責任者		建設部土木局河川砂防課長 滝田 哲也																			
担当係								担当係		河川計画係(内) 29-323																			
基準年月日										令和2年8月1日																			
<b>I 基本事項(基準日時点)</b>																													
事業種別		河川総合流域防災事業費(社会資本整備総合交付金)						地区名		望来川		石狩市																	
事業費		3,840 百万円		負担割合		55%		45%		その他																			
						2,112 百万円		1,728 百万円		百万円																			
事業目的・目標		<p>●望来川は、日本海に注ぐ二級河川で、S56年(1981年)8月の2度に渡る洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生した。</p> <p>●このため、H13年(2001年)より望来川の当該区間1.4kmの河川改修事業に着手。</p> <p>●堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、石狩市厚田区望来地区の市街地及び農地の浸水被害を防止する。</p> <p>【アウトカム】等</p> <p>●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 78戸 → 0戸</p> <p>●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 26ha → 0ha</p>						事業概要		望来川は、河口から1.4kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。																			
										事業費内訳		計画流量 Q=190m <sup>3</sup> /s 計画延長 L=1,400m 築堤工 L= 700m 掘削工 L=1,400m 護岸工 L=1,027m 附带工事 道路橋N=4橋等 測量設計費 調査・設計 用地費及補償費 用地買収・物件補償 計 2,890 3,840																	
総合計画での位置付け		施策名		大規模自然災害対策の推進				総合計画：大項目		生活・安心																			
		総合計画：中項目		強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮				総合計画：小項目		大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服																			
		施策目標		防災上重要な公共施設の整備				関連する指標		-																			
<b>II 公共事業評価経過</b> (単位：百万円)																													
事業経過		事業採択		着手		評価年度		完了予定		事業費																			
		事前評価又は当初		H13(2001)		H16(2004)		H24(2012)																					
		前回評価		H16(2004)		H27(2015)		H36(2024)																					
		今回評価		H16(2004)		R2(2020)		R6(2024)																					
						経過年数		19																					
								総事業費(a)		2,100																			
								道負担額		945																			
								当該年度事業費		63																			
								累積事業費(b)		3,029																			
								進捗率(b)/(a)		79%																			
変更理由・内容		(1)掘削土の残土処理に費用を要したこと、仮設工の変更などによる (2)樋門工構造形式の変更による (3)瑞穂橋架替にあたり、軟弱地盤対策が必要になったことによる (4)資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による																											
<b>III 事業採択前の状況</b>																													
1.事業採択に至る経過と背景		<ul style="list-style-type: none"> <li>● S56年(1981年)8月上旬 浸水被害が発生(浸水面積169ha、浸水家屋33戸)</li> <li>● S56年(1981年)8月下旬 浸水被害が発生(浸水面積113ha、浸水家屋12戸)</li> </ul>																											
2.事業検討の手續(住民への把握等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● S56年(1981年) 望来川改修事業促進期成会の結成</li> <li>● S59年(1984年) 望来川について石狩市(旧厚田村)より道に河川改修の要望</li> <li>● H13年(2001年) 望来川の改修事業に着手</li> </ul>																											
3.事業効果を及ぼす地域・対象		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 石狩市厚田区望来地区 氾濫防止面積46ha(うち農地26ha)、浸水防止家屋78戸</li> </ul>																											
4.関連する事業		事業名		事業主体		事業期間		事業費(百万円)		事業内容																			
<b>IV 事業の実施状況</b>																													
<b>(1) 事業計画及び実績</b>																													
1.進捗状況		施工(工種)区分		工事内容		13~16		17		18~		20		21~		24		28~		R2		3~		6		進捗状況		事業費(百万円)	
		築堤工		L=700m												L=87m		L=285m		L=328m		L=328m		L=328m		#REF!		#REF!	
		掘削工		L=1,400m						L=70m		L=240m		L=460m		L=460m		L=460m		L=460m		L=460m		L=460m		#REF!		#REF!	
		護岸工		L=1,027m						L=193m		L=44m		L=370m		L=370m		L=370m		L=370m		L=370m		L=370m		#REF!		#REF!	
		附带工事		道路橋N=4橋等														道路橋N=4橋等		道路橋N=4橋等		道路橋N=4橋等		道路橋N=4橋等		#REF!		#REF!	
		測量設計費		調査・設計																						#REF!		#REF!	
		用地費及補償費		用地買収・物件補償														28#		28#		28#		28#		#REF!		#REF!	
																										#REF!		#REF!	
<b>(2) 進捗状況</b>																													
河口から0.8km区間の整備が完了。 事業期間の延伸後、事業は概ね予定どおりに進捗しており、今後の事業実施にあたって、特に大きな支障となるものはない。																													
a		a：概ね予定どおり実施している。 b：事業計画(期間)等を変更し実施する。 c：問題が生じ、実施に支障をきたしている。																											
2.事業効果		経済効果の内訳(百万円)				費用の内訳(百万円)				B/C		備考																	
		項目		R2現在		項目		R2現在		R2現在		<ul style="list-style-type: none"> <li>●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2)に基づき算出</li> <li>●効果及び費用は、R2に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出</li> <li>●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる</li> </ul>																	
		洪水被害防止効果		12,377		建設費		5,136																					
						維持管理費		9																					
合計(B)		12,377		合計(C)		5,145		2.41																					
前回は評価年度		H27年度(2015年度)																											
前回は評価時B/C		2.13																											
変更理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・掘削土の残土処理に費用を要したこと、仮設工の変更などによる。</li> <li>・樋門工構造形式の変更による。</li> <li>・瑞穂橋架替にあたり、軟弱地盤対策が必要になったことによる。</li> <li>・資材及び労務単価の上昇による。</li> <li>・治水経済調査マニュアル(案)が改定され、便益の算定方法等が見直されたことによる。</li> <li>・効果及び費用をR2に現在価値化したことによる。</li> </ul>																											
3.コスト削減などの取組		取組の項目		取組の内容								縮減額(百万円)																	
		施工の最適化		現地採取の表土を護岸の覆土へ有効利用								33																	

V 評価							
1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本事業は、石狩市厚田区望来地区の市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。</li> <li>●事業着手後もH22（2010年）8月（農地浸水面積6.2ha、浸水家屋1戸）に浸水被害が発生。</li> <li>●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>						
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。      b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。					
2. 事業を推進する上での課題	<b>(1) 環境上の配慮及び課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 蛇行部は、洪水をスムーズに流下させるため新水路の開削を行うが、旧川部現況河道は保全し、魚類等の生息環境に配慮する。</li> </ul> ※直近の評価以降の状況変化はない。						
	<b>(2) 事業推進に対する住民の動向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 石狩市から事業の早期完成に向けての毎年度要望が出されている。</li> </ul>						
	<b>(3) その他の課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul>						
3. 事業達成の見込み	今後の事業の実施にあたっては、特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。						
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。					
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和6年度（2024年度）の完成を目指し、事業継続する。						
	a	a：継続    b：終了    c：休止    d：中止					
	事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 無
VI 備考							
1. 評価履歴	再評価： H27年度実施    評価結果： 継続（変更なし） B/C：2.13						
2. その他の取組み事項							

補足資料

VII 事業計画変更 (単位：百万円)													
事業期間	再評価 又は当初	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)	
事業期間		H13 (2001)	H16 (2004)		H24 (2012)	19	事業費	2,100	945				
	変更①	1回目	H16 (2004)	H22 (2010)	H28 (2016)			2,650	1,193				
	変更②	2回目			H27 (2015)			H36 (2024)	2,890	1,301			
	変更③				H28 (2016)			H36 (2024)	3,505	1,577			
	変更④				H30 (2018)			H36 (2024)	3,729	1,678			
	変更⑤	3回目			R2 (2020)			R6 (2024)	3,840	1,728	63	3,029	79%
	変更⑥												
	変更⑦												
	変更⑧												
	変更⑨												
変更⑩													
変更理由・内容		変更①：事業費の増    ～軟弱地盤による橋梁の基礎杭長の増及び仮設工法（仮橋、仮道等）の変更等による。 事業期間の延伸～河口部の用地買収に時間を要したこと。 変更②：事業費の増    ～送電線移設ルートの変更などによる。 事業期間の延伸～送電線移設に伴う関係機関協議に時間を要したことのほか、残事業の施工期間を精査したことによる。 変更③：事業費の増    ～掘削土の残土処理に費用を要したこと、仮設工の変更などによる。 樋門工構造形式の変更による。 変更④：事業費の増    ～瑞穂橋架替にあたり、軟弱地盤対策が必要になったことによる。 変更⑤：事業費の増    ～資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による。											

事業名	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	望来川	採択年度	H13 (2001)
-----	------------------------------	-----	-----	------	---------------



計 画 諸 元	
流域面積(km²)	47.6
計画延長(km)	1.4
氾濫面積(ha)	46
計画雨量(mm/hr)	34
計画高水流量(m³/s)	190
計画勾配	1/800

